

病室写真家

TAKA展

多発性骨髄腫（血液のガン）

～傾斜45度高さ1mからの世界～

多発性骨髄腫（血液のガン）に侵された写真家TAKA。幾日も“ベッドの傾斜45度”の世界から抜け出せず、それでも撮り続けることが生きることと信じ、撮りためた5000枚。

首の骨が圧壊し、全身麻痺で撮ることが出来なくなる日がいつ来るかわからない・・・

その時まで、一人でも多くの方に生きることの希望と勇気を与えたい。

【写真展】

2019年4月10日（水）～22日（月）木口記念会館

※開催時間は木口記念会館の開館時間と同じです

【講演会】

2019年4月10日（水）13:30～

木口記念会館 1階多目的ホール

写真家TAKAが病に侵されても“ENJOY ALL”を合言葉に自身の話を伝え
すべての人に生きることのすばらしさを伝えます

※体調次第で中止となる可能性がありますことをご了承ください

【お問合せ先】

木口記念会館 受付

TEL:0797-35-5262 Eメール: kaikan@kiguchi.or.jp



Kiguchi Foundation
公益財団法人 木口福祉財団

プロフィール

病室写真家 T A K A

一人でも多くの方へ、少しでも生きる希望や勇気や励みになってもらいたい。

1961年生まれ。写真は独学で20数年。

長年各種イベントやたまにモータースポーツに出向き写真家として活動をしていた。

2016年8月多発性骨髄腫という血液のがんに侵される。全身の骨をがん細胞に溶かされ、普通に歩いても骨折するぐらい骨がボロボロ。

医者から100万人に1人～2人と言われた(笑)現代医学では完治はないと言われる病。

今も骨は溶かされ続けている。杖と首のコルセットと抗がん剤は今後も手放せない。

余命3年と言われ、残り半年を切った。

闘病生活は辛い、苦しい、しんどい、当たり前。絶対安静のベッドの上だけの闘病生活が始まった。

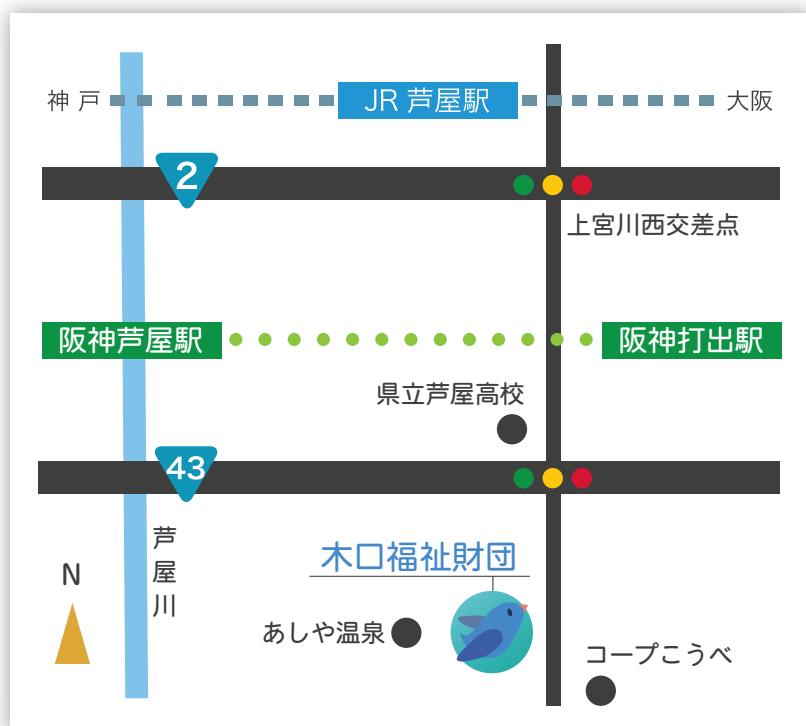
そんな中でも何かの楽しみを見つけて、ことの大切さを感じ、好きなカメラを病室に持ち込み病室写真家と称し、病室という限られた空間や時間の中、ベッドからならでは見える世界を撮り続けた。

ENJOY ALL !



病室写真家 T A K A

アクセス



JR 芦屋駅「南出口」より徒歩 16 分

阪神芦屋駅「南出口」より徒歩 14 分

阪神打出駅「南出口」より徒歩 14 分

阪急バス「呉川町」バス停より徒歩 1 分

みなさま！
ぜひお越しください！



木口福祉財団キャラクター
まもりん

● 駐車場はございますが、数に限りがありますので、公共交通機関の利用をお願いします。